

City Life

シティライフは

地元の情報を毎月ご自宅にお届けするフリーペーパーです。

12月号に掲載
www.citylife-new.com



早期発見のためにまずはかかりつけ医院を リラックスできる環境作りがポイント

女性への配慮で通いやすさを追求

コロナ禍の中、健康意識が高まったとはいえ、多くの方は体に痛みや違和感を覚えたときに通院されます。その時に大きな異常が見つかった場合、入院し手術を受ける必要があるかもしれません。そのような事態を防ぐには、原因の早期発見が不可欠です。まずは安心して通える「まちのかかりつけ医」を見つけてほしいと思います。例えば、当院では通院への敷居を下げるため「通いやすい環境作り」にこだわりました。マンモグラフィ周囲のレイアウトでは、更衣室・レントゲン室・マンモグラフィまで、他の患者さんと一切接触しない通路を用意。放射線技師も女性が担当することで、少しでもリラックスして診察していただけるよう工夫をしています。



抵抗を感じる人が多い胃カメラ、大腸カメラだが同院では麻酔をかけて眠った状態できる。痛みを感じさせない工夫にこだわるのも、患者により通いやすく感じてもらうため。

専門的な診察で迅速な対応を

環境を整えるだけではなく、診察から治療までスムーズに行うことができる確かな技術も信頼して通っていただくためには重要です。自分の症状がわかっている場合は、専門の医院に通われる方が良いでしょう。そうではない場合は、幅広い診療科目を設けている医院に通うことから始めましょう。当院では、内科・消化器内科・内視鏡内科・乳腺外科・循環器内科・外科を診療科目として設けています。必要な検査をすべて当院内で行うことができるよう、設備を充実させ、当院での治療が難しい場合も、できるだけ詳しいデータをとることで治療を担当する病院に引き継ぎます。何が原因かわかるまで時間がかかる…そういったことのないクリニックこそ、まちのかかりつけ医として信頼されるのではないかと考えています。



院内のレイアウトデザインは大石院長の奥様が担当。女性が安心して受診できるよう、ウッディなやわらかい雰囲気統一している。

大石クリニック 大石賢玄 院長

関西医科大学卒業。関西医科大学附属病院などで一般外科、消化器外科、乳腺外科を中心に経験を積んだのち「原因の早期発見のため、安心して相談できるまちのお医者さんになりたい」との思いで、2020年5月に同クリニックを開院。



コロナ等感染疑いのある患者には 自家用車で完結する発熱外来を

新型コロナウイルスやインフルエンザ感染の疑いがある場合でも、患者は一步も自家用車の外に出ることなく、駐車場で診察が可能。「他の患者と接触することがないので、疑いのある本人にも周りを気にせず気軽に受診してほしい。」(大石院長)



大石クリニック

箕面市船場西三丁目6番32号
箕面船場クリニックビル302号室
営/午前診: 9時~12時
午後診: 16時~19時 日曜休診
※水・土曜は午後診休診

☎072-728-0018
<https://oishi-cl.jp/>

